



1頭当たりの平均価格が50万円を超えた育成牛の初競り(2020年1月、音更町内のホクレン十勝地区家畜市場)



後継牛が確保されつつある中、依然として高値のホルスタイン(2020年1月、音更町内のホクレン十勝地区家畜市場)

畜産

牛の市場価格 高値傾向続く

ホクレン十勝地区家畜市場では肉牛などの競りが活況だ。初競りの状況をみると、全体的にやや価格は落ち着いてきたものの、依然として高値傾向が続いている。

今年の初競りとなったのは、1月上旬の乳牛の育成牛市場。生後10カ月ごろまでの種付け前の牛が中心に出品され、1頭あたり平均価格は前年比2・1%減

の50万7546円。最高価格は69万1900円だった。育成牛市場は平均価格が30万円程度だったが、2016年ごろから上昇。一時期の後継牛不足を脱したことで高水準に一服感はあるが、規模拡大を背景に引き合いが強い状況は続く。同様に高値が続いているのが乳牛だ。ホルスタインの初妊牛(分べん歴のない妊娠した牛)の初競りの平均価

格は85万4700円。前年同期比14万円ほど下がったが、15年は平均50万円ほどだったことを考えると依然として高い。規模拡大に向けた後継牛の需要の高まりがあるためだが、乳価の上昇や国の支援制度によって牛を増やす環境が整い、関係者間では「後継牛は徐々に確保されてきている」との見方も。今後の価格動向が注目される。

肉牛の素(もと)牛(子牛)ではホルスタインの雌と和牛の雄を掛け合わせた乳用交雑種(F1)の成約率の高さが目を引く。初競りでは去勢牛1155頭、雌1066頭が出品され、成約率はともに96%台。

黒毛和種の素牛は去勢、雌ともに成約率は80%台後半で、ホクレン帯広支所酪農課は「消費者に手頃な価格で提供できるF1の引き合いが強くなっている」と話す。

闘根
種子粉衣
タイプ

ネちからアップ

根っこに「活力」

決め手は根っこにあり! 風にも負けないトウモロコシ作り!

トウモロコシ栽培の敵、倒伏被害を防ぐにはどうすれば良いでしょうか。倒伏に強いトウモロコシの特徴は、「根張りが良い」ことであるとされています(2018 農家の友、出口)。「ネちからアップ」による根の生育を助けることにより、倒伏軽減が期待できます。



闘根の成分にスノーグローエースの成分を加え、さらにパワーアップさせ、粉末化しました。

使用基準 乾燥種子重量の0.3%を基準に均一に乾粉衣してお使いください。

特徴 発芽直後の根の生育をサポート、根張りよい丈夫な作物を作ります。 ※当社調べ

- 300gでトウモロコシ種子50000粒袋が約7袋(4ha分)使用できます。
- 5月中旬に播種し、8000本/10a以上栽植しない。
- 春の基肥を施肥標準量施用する。

◆デントコーン(2011、訓子府) 6/13



処理区	葉面積(cm ²)	総根長(m)	根乾物重(mg)
慣行	644.72	64.9	0.47
ネちからアップ	約1.7倍	約1.7倍	約1.9倍
施用	1086.1	107.8	0.88

◆2018年 道内6試験地での事例(阿寒2、標茶2、計根別、忠類)



処理区	支根直上根径(mm)	根張りの長さ(cm)	根張り幅(mm)	生総重(kg/10a)
無処理	18.9	46.3	5.1	5043
ネちからアップ	21.3*	52.6†	4.7ns	5839*

【収量調査時】 北海道平均(6カ所) 無処理 21.3* 52.6† 4.7ns 5839*
ネちからアップ 0.3

注) 1対のt検定による、†(10%)、*(5%)で有意差あり
2018年当社調べ(北海道平均6カ所)



雪印種苗株式会社

帯広営業所

〒082-0005 河西郡芽室町東芽室基線13番26
TEL (0155) 62-8181 FAX (0155) 62-8585
<https://www.snowseed.co.jp/>